

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 4 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 (2) | ○事業所と地域とのつきあい 地域行事が少ないため、地域施設への外出、慰問やボランティア、学校との交流会、研修や体験学習を積極的に行うが、今後も地域との関わりについて、積極的な取り組みが求められる。 | 地域とのつきあいをより深められるようにする。地域に向けての積極的な働きかけの機会を、医療法人としての機能を活かして確保していく。 | 地域の方も参加できる催し、地域に向けての働きかけの在り方を法人として検討する。事業所としては、今後も地域参加型催しの開催、地域への外出、地域の方との交流会などの機会を確保していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 13 | ○職員を育てる取り組み 法人、事業所、外部研修などの機会を確保し、職員の育成に努めているが、今後は医療法人の従業者として、医学的知識に基づくよりよい認知症介護を実践するため、知識と技術の向上が求められる。 | 正しい認知症の理解、認知症の医学的知識を習得し、よりよい認知症介護の実践に活かす。利用者個々の状況について、性格や生活歴をもとに把握することはもちろん、医学的知識にもとづくケアを実践し得る職員を育成する。 | 法人、事業所、外部研修を受講する機会を確保し、特に事業所内研修は、医学的知識の向上、認知症の理解に資する内容を計画的に開催する。 | 12ヶ月 |
| 3 | 14 | ○同業者との交流を通じた向上 現在は、同業者の参加する研修に参加する機会を確保しているものの、ネットワーク作りや勉強会など、より密接に同業者と関わる機会が少ない。 | より密接な同業者との関わりを構築できるよう、同業者間で開催される勉強会や意見交換会に積極的に参加する。今後は地域のネットワーク作りに参画できるよう活動し、地域のサービスの質の向上に貢献する。 | 同業者間で開催されている勉強会に参加する機会を確保する。同業者の有する知識や技術を吸収すると同時に、当法人の知識や技術を発信する機会とする。 | 12ヶ月 |
| 4 | 26 (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング ケアの在り方については、全職員の意見やアイデアを反映しているが、今後はそれぞれの職種が専門的視点を持ち、よりよいケアの実践に役立てる必要がある。 | 事業所における多職種協働の体制と法人の機能を活かし、それぞれの専門的な視点から最良のケアの在り方について協議し、よりよい介護計画の立案に役立てる。 | 介護計画立案のためのケアカンファレンスは、職種ごとの専門的見地に基づいた意見を交わす方法で行う。専門職の意見にもとづき、日々のケアに反映できるよう、ケアの方法などについても工夫していく。 | 12ヶ月 |
| 5 | 35 (13) | ○災害対策 定期的な災害用設備点検、災害避難訓練を行っているが、昨今の自然災害状況から、様々な災害状況に対応できる必要があり、事態を想定した現実的な災害対策、訓練が求められる。 | 法人としての合同災害訓練に加え、事業所単体での災害訓練を計画、実行する。火災、震災、風水害など災害の種別に応じ、具体的な災害対策、避難方法、初動の確認などを行う。 | 法人の合同災害訓練に加え、事業所独自に災害対策訓練を行う。対策、訓練は様々な事態を想定した、具体的で現実的な対策、訓練とできるよう計画し、実行する。特に火災、震災時の対策、訓練について見直しを図る。 | 12ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。